

特定非営利活動法人京丹後コミュニティ放送
番組審議会 議事録

- 1、開催日時 : 平成23年3月16日(水) 午後8時から9時
- 2、開催場所 : 京都府京丹後市峰山町丹波825番地の1
NPO法人京丹後コミュニティ放送 1階事務所内
- 3、委員の出席 : 委員総数 7名
出席委員 5名 中西 敏行(会長)
藤井 美枝子(副会長)
木村 嘉充(委員)
安田 秀俊(委員)
藤村 肇(委員)

欠席委員 2名 濱野 里美(委員)
徳本 卓也(委員)

放送事業者側出席 福永 孝宣(理事長)
小牧 眞人(副理事長)
中西 進(放送局長代理)
その他出席 高野 恭平(徳本委員代理として)
- 4、議題 : 番組試聴、及び放送法第3条の4第3項、第5項に関する報告
- 5、議事概要 : 平成23年3月10日(木曜日) 午後8時~8時30分放送
番組名「Hertz station ラジ☆こみゅ」
を視聴し、審議の結果、各委員の了承を得た。
- 6、議事内容 : 平成23年3月期審議会を開催する。
: 平成23年3月10日(木曜日) 午後8時~8時30分放送の
「Hertz station ラジ☆こみゅ」を視聴した。

事務局 : 簡単に担当パーソナリティの紹介をさせていただきます。

「丹後は1つプロジェクト」という団体を作り、情報を通じて丹後を一つにしていこうという趣旨のもと活動しています。その取り組みをラジオでも伝えていきたいと言うことで参加をしてもらっています。以前は5分ほどのコーナーを担当していましたが、コーナーから飛び出し30分番組を担当してもらっています。主に、情報発信・イベントの紹介で、週替わりでアシスタントと一緒に

に番組作りをしています。
どうぞお聞きください。

会 長：ご意見をお願いします。

委 員：この番組は、丹後は1つプロジェクトと地域おこし協力隊がお送りしました。
と、最後に言っておられますがその通りですか？スポンサー？

事務局：スポンサーではありません。地域おこし協力隊がバックアップしているわけでもありません。

委 員：固定したプロジェクトの中にいる人がパーソナリティーとしてでてくると、自分の番組としてすきなようにできるのでは。

委 員：FM たんごとしてのプロジェクトですか？地域おこし協力隊のかたは、市役所の扱いの方になるので勝手にできるのか。また、内容が伊根町のことが中心になっている。協力隊のかたには京丹後市のために市外から着て頂いているかた。

事務局：番組の趣旨としては、2市2町の事を放送していて、個人の私利私欲ではない。京丹後市の関係であるなら、考えてアドバイスをしていかないといけない。

委 員：番組の中に丹後は1つプロジェクトが何度もでてくるのは、公私混同のように感じる。

委 員：番組名が丹後は1つプロジェクトのように感じる。個人的に活動されているのは問題ないが、私物化されているよう。

委 員：FM たんごが何を狙っているかわからない。伊根町をもっとPR したいのか、京丹後市の人に何が伝えたいのか、聞いているほうはわからない。

委 員：伊根町のイベントをメインで京丹後市の事はサブに言っているという感じがする。

事務局：京丹後市の観光協会等へも情報をもらえるよう依頼をしているが、今回は伊根町観光協会からの依頼でPR しました。

丹後の情報を知ってほしいというところで、京丹後市外の情報もあります。

委 員：FM たんごが番組を通して何を知らせたいのかがない限り、市民はFM たんごに対してどういう風にかかわって行ったらいいのかがわからなくなる。こういう事を放送してくれるから応援しよう、支援しようとかみんながFM たんごを守って行こうとかという気持ちになる。

情報提供をされないから、入ってくる情報だけでと考えていたら、FM たんごの存在価値がどこにあるのか。失礼だが、期待したいのであえてきつく言わせてもらいます。

委 員：どういう風にとらえて、どういう風に伝えたいのかと言う事が根本にあって番組は作られるのではないか。方向性をなくすことにならないか。

委 員：番組を企画されたときにこういう内容でやらせてほしいという話はあるんです

か？出来上がってからこれではだめだとは言えないのでは。

事務局：ありますが、忙しい中番組作りをしてもらっていることもあり、収録前にする打ち合わせ時間は少ない。毎週更新にこだわらず、納得して聞いてもらえる番組作りを力を入れてもらうようじっくり考えていかないといけない。

委員：相手のかたとの会話がかみあっていない。市外からこられた方に対してはもっと丹後で感じたことを伝えてほしい。思うこと、伝えたいことはしっかりまとめて収録してほしい。

委員：せっかく市外からこられているのだから、丹後の魅力を違った形で紹介してもらえるとよいのでは。

事務局：密な話し合いができていないのでやっていかないといけない。番組の中味はパーソナリティーに任せている状態で1から10までの打ち合わせはしていない。今後の課題でもある。

委員：番組収録後は誰か一度は聞かれていますか？

事務局：収録時に聞いている形になり、気のついたことはアドバイスをします。

委員：FM たんごで、しゃべる目的をパーソナリティーに伝え示さないといけない。一生懸命さは伝わってきますが、パーソナリティー任せにすると、こうなるのでは。

事務局：手がまわっていないのが正直なところです。

災害時には、みんなに聞いてもらいたいという前提があり、じゃあいつも聞いてもらっている番組の中で情報が伝えられることが、常に聞いてもらえる情報を伝えないといけない。

委員：番組内で、丹後は1つプロジェクトの名前を出さずにやってみては。言わなくてもできる内容の方がよいのではないか。

事務局：そこまで意識していませんでした。情報発信というプロジェクトを取り組んでくれる人がなかなかいないので貴重な存在だと思っています。また、一生懸命丹後の魅力をPRしていこう考えていてくれます。

委員：だからと言って放送していいとは限らない。一生懸命なのはよくわかります。

委員：価値観を固定化しない方がよいのでは。

委員：やはり、打ち合わせをしてから収録されるほうがよいのでは。

事務局：色々指導をしていかないといけない。チェック機能がないのも反省材料とさせていただきます。放送してから気づくことが多いのも課題。放送しないほうがよいのではないかと言う判断が難しい。スタッフ側に責任があると思います。

会長：沢山のご意見ありがとうございました。今後の番組作りにいかしてほしいと思います。本年度最終の審議会、大変お疲れ様でした。

7、審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日
特になし。(注文部分は、翌日放送局担当者に通知しました。)

8、審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、放送及び年月日

① 平成23年3月24日(木) 当局事務所内に掲示

② 平成23年3月24日(木) たんご・モーニング・サンド! 番組内において放送

③ 当局ホームページ <http://fm-tango.jp/> に掲載

9、その他参考事項
特になし